

とんがらし通信

とんな出会いが



待っているのかな... 



No. 268



～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・能登半島地震支援
- ・イオン交流イベント
- ・表現展
- ・活動紹介（メイドカフェ 奈美まつり）
- ・権利擁護虐待防止委員会
- ・Close-up!
- ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2024年3月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



なんだかなあ！ 3連発！！ の巻

元日におきた令和6年能登半島地震において亡くなられた皆様にご心からお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべてのみなさまにお見舞い申し上げます。現地では2か月半が経過した今もなお、非日常の不便な生活を余儀なくされています。息の長い支援が求められていると思います。出来ることを一つずつ少しずつ続けていきましょう！

何から話せばよいのか…。この半年ばかり、なんだかおかしいことだらけで『???』なのです…。

まずは言わずと知れた自民党の裏金問題です。昨年11月、安倍派をはじめとする5つの自民党派閥が2021年までの4年間にあわせておよそ4,000万円分の政治資金パーティーの収入を政治資金収支報告書に適切に記載していなかったとして告発されました。派閥の収入の大きな割合を占めるパーティー券収入ですが、会場費や飲食費を抑えることによって9割もの利益率を生むパーティーもあり、実質的な『寄付金』ではないかとの指摘がこれまでもありました。政治資金規正法では、議員個人への企業・団体からの寄付を禁じ、個人からの5万円を超える寄付は政治資金収支報告書に記載し公表することを求めています。パーティー券については企業・団体の購入も可能で、1回に20万円までは報告書への記載義務もありません。告発を受けて東京地検特捜部の捜査により派閥が主催するパーティーで集めた売り上げの一部を政治資金収支報告書に載せず議員に『キックバック』したり、議員が派閥に収めず『中抜き』したことが次々と明らかになってきています。現時点で自民党のアンケートに基づいた不記載総額はおよそ6億円とされていますが最終的には10億を超えるとの指摘もあり、今後も注視する必要があります。さて、民間企業が同じことをやったらどうなるでしょう。売上の一部をなかったことにして社員などに配った場合、法人税法違反に問われます。キックバックを得た社員が税金を納めなければ当然脱税です。また、社員が中抜きした場合には業務上横領に問われるでしょう。厳密にいうと政治資金パーティーの売り上げには税金がかからないため脱税には問われませんが、我々国民の代表である議員たちが揃いも揃ってこういう状況であるということは覚えておきたいものです。なんだかなあ！

もうひとつ。そんな状況であるからますます頭に来てしまうのですが～。市町村の委託事業である『障害者相談支援事業』が、消費税非課税事業ではなかった（＝社会福祉事業から外されていた）ことが明らかになり、全国的に大きな問題となっています。これは一部報道から判明したとしてこども家庭庁・厚生労働省が都道府県・市町村に発出した事務連絡文書によって明らかになったものですが、それまで非課税として取り扱っていた自治体がほとんどであり、障害福祉事業者には大きな衝撃が走りました。そもそもどこでどのように取り違えられたのかその経緯は判然としませんが、『障害福祉の肝』ともいうべき委託相談支援事業が第二種社会福祉事業の定義から外され、『社会福祉事業ではない』と言われていることには大きな危機感を覚えます。とともに、つどいの家もこの委託費だけで課税売上が1,000万円を超え消費税課税事業者になってしまうため、作業品やパンの売り上げ等に対しても消費税の納付が必要になるという現実的な課題にも直面しています。なんだかなあ！

さらに。今年は3年に一度の障害福祉サービス報酬改定の年に当たり、先般その概要が明らかになりました。全体的には1.12%のプラス改定との説明ですが、またかというかやはりというか、基本報酬はほぼ横ばいからマイナス改定で各種加減算での調整という感じでした。生活介護事業では、基本報酬の算定に1時間ごとの『サービス提供時間』が細かく設定されたことが大きな変更点です。仙台つどいの家のように6時間の活動時間の事業所はこれまでの給付費と比べておおよそ3%の基本報酬減。8時間の活動でようやくトントンかプラスに転じる設定になっています。さらに9時間以上の活動時間になってやっと延長支援加算が算定できます。

…しかしこれ、やっぱりおかしいと思いませんか？常勤職員の勤務時間は1日8時間です。これはほぼどの産業でも標準的な勤務時間になるのではないのでしょうか。そういった8時間の中で利用者さんと直接かかわる仕事を私たちは行っているのです。時間の途中で『勤務時間終わりだから。じゃあ！』とか言って人が入れ替わることのできる仕事ではないはずなんです。利用者さんはなんでここに通ってきているのか？日中活動に何を求めているのか？そういうことを想像すればよくわかるのではないかと思います。ただ単に時間を過ごせばよいわけではない。これは当たり前なことですよ！

送迎も含めて8時間の勤務時間の中で何とかやりくりしている一方で、同じ国から『働き方改革！！』と責められて。。やっぱり『なんだかなあ！』と思うのは、私だけだろうか。。
(管理者 山口 収)

令和6年能登半島地震支援



能登地方

加賀地方

417 km 夜行バスで9時間

令和6年元日に起きた能登半島地震。

震災発生から3週間たって、1月21日の夜に仙台を夜行バスで出発。22日の朝から物資移動の支援をお手伝いして、1月23日から2月2日まで、被害の大きかった珠洲市の少し南の能登町にある佛子園『日本海倶楽部』という福祉施設で、介護やお話し相手、施設美化などの支援をしてきました。

今回行かせていただいた『社会福祉法人佛子園』は東日本大震災の3か月後に2名の職員さんが2週間にわたって活動支援ボランティアとして、長期化する不便な活動状況の中で、利用者・職員の心の支えになっていただきました。そのつながりから今回はつどいの家から2週間の間に5名の職員が佛子園の支援に行かせていただきました。

金沢は加賀百万石、前田公のお膝元で古い建物・茶屋街や武家屋敷も残っているのですが大きな被害は無いようで、街を行きかう人たちも通常の生活を送っているように見えました。しかし、能登に入ると世界が一転。色を失ったような世界で、東日本大震災で見たような津波の被害だけでなく、多くの家が倒壊し、道路も亀裂や落石で通行が難しいところも多かったのが印象的でした。

石川県は半島の地形で奥まで行ける道路は一本だけ、一方向からしか支援が入りません。その道路も大きな亀裂やがけ崩れで、片側通行や徐行が必要な状況で金沢から能登町まで当初12時間かかったそうです。私が行った23日も支援の通行証明書のある車と地元住民の方の車だけでも、渋滞で6時間かかりました。そのような状況のため、津波があった地域は特に、支援が入っていない状況が続いているようでした。

施設に入ってから支援では、水が出ないため、トイレの水が流せないでの便の処理、お掃除がとても大変な状況でした。歯磨きも貴重な水を少しずつ使いながら、モンダミンのような口腔洗浄液も使用していました。野菜や果物を洗うのにも大量の水が必要で、カットした野菜・果物が貴重でした。もちろん皿も洗えないので、紙皿で味気ないお食事になっています。水の大切さを再認識させられました。震災の教訓忘れてはいけませんね。

3月10日から1週間。第2回目のお手伝いに石川に行ってきます。(記：佐藤智)

「イオン仙台幸町店」と交流イベント



今年も「イオン仙台幸町店」さんと 2月2日に交流イベントを行いました。2月ということで、【節分 豆まき】のレクリエーションでイオンの新入社員さんと楽しみました。イオンの社員さんに各グループで作った鬼のお面や金棒・衣装などの鬼グッズを身につけてもらい、イオン鬼さんに豆の代わりにカラーボールを投げて災いごとを追いかけていました。迫力満点のイオン鬼さんに利用者さんは力いっぱい『鬼は～外！ 福は～内！』とボールを投げて、イオン鬼さんはボールをたくさん当てられてタジタジになっていました (*^_^*) 最後はイオン鬼さんから利用者さん一人一人へ福袋(お菓子)をいただき、仙台つどいの家の中に笑顔の福がたくさん入ってきました！ イオン仙台幸町店さん今年も楽しい交流ありがとうございました。これからも地域のお店とより良い繋がりを持っていきたいと思っております (^O^)/ (記：佐藤和)



イオン鬼さんはボールをたくさん当てられてタジタジになっていました (*^_^*) 最後はイオン鬼さんから利用者さん一人一人へ福袋(お菓子)をいただき、仙台つどいの家の中に笑顔の福がたくさん入ってきました！ イオン仙台幸町店さん今年も楽しい交流ありがとうございました。これからも地域のお店とより良い繋がりを持っていきたいと思っております (^O^)/ (記：佐藤和)

「表現展」

去る2月7日から15日の9日間、イオン仙台幸町店さまの一角をお借りして、『表現展』を開催しました。今回で5回目の開催となる『表現展』。利用者さんの言葉にできない内なる想いを絵や写真で表現した作品を展示する企画です。

好きな色をキャンバスいっぱいに広げたり得意な手の動きを使って描いた絵画、大好きなレトロなものを探し歩いて撮った写真、たくさん研究して熱中して作ったレース編みなどなど、利用者さんのことをそのまま感じていただけるような作品を多数展示しました。

毎日足を運んで観てくださった方がいたり、「素敵な作品で元気になりました。」「毎年の作品に変化が見られて楽しい時間となりました。」などたくさんのありがたい感想をいただきました。つどいの家には、個性豊かな利用者さんが通っていることを作品を通して知っていただけてうれしく思います。アート作品は作者と観ていただいた方との心のふれあいだと思います。これからも利用者さんの想いをかたちにできるよう支援していきます。観てくださった方から「ぜひ大きな作品にもチャレンジしてください」とのお言葉がありましたので、もっとダイナミックな作品にも挑戦していきたいなと思います。

今回も快く協力をしてくださったイオン仙台幸町店さま、幸町中学校さま、そして足を止めて観てくださった方、ありがとうございました！ (記：安藤)

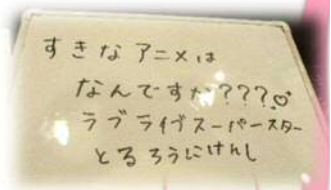
メイドカフェに行ってみよう♪

くるみグループの佐藤恵一さんとけやきグループの岩佐美奈さんとで仙台駅近くにある「メイド喫茶ぷりもふい〜ね」というメイドカフェに出掛けました📷この2人、普段かかわりの少ない利用者さん同士なので、当日を迎えるまでどんな外出になるのか?! ドキドキ・ワクワクしていた職員達でした😊仙台駅までは、バスで向かいます。バスでの外出が大好きで、運転手さんのアナウンスに「次はどこに停まるの?!」と興奮気味な美奈さんに対し、その姿を微笑ましく見ていた恵一さん🚌 昼食は、恵一さんのリクエストでロッテリアに行きました。徐々に2

人の距離は縮まっていき、「恵一さん〜♪」と手を振る美奈さんに対し、こっそり手を振り返してくれました🌟メイドカフェに到着し、緊張する職員を横目に、どんどん店内に入っていき美奈さん。メイドさん一人ひとりのお名前を聞いたり、好きな音楽の話や好きな職員の話まで・・・❤️リラックスした雰囲気色で色々な会話を楽しみました😊

初めのうちは緊張している様子の恵一さんでしたが、好きなアニメやゲームの話で盛り上がり、メイドさんの明るい雰囲気徐々に表情が柔らかくなり…心から楽しんでいる姿を見て職員達も嬉しい気持ちになりました🎵最後は、メイドさんとチェキでツーショット📷

メイドさんとの時間をたっぷり楽しみ、帰りは「行ってらっしゃいませ、ご主人様〜! お嬢様〜!」と見送られて、「行ってきます!!」と思わず返事をする美奈さん😊何度かメイドカフェに行ったことがある恵一さんも、新しい体験ができた美奈さんも、素敵な時間を過ごすことが出来ましたね(^0^)/ 「メイド喫茶ぷりもふい〜ね」の皆さんありがとうございました。(記: 小沢)



奈美まつり 2023

2月14日はバレンタインデー♡仙台つどいの家の今年のバレンタインは、けやきグループの滝口奈美さんが中心の企画「奈美まつり」を開催しました。今年のテーマは「Happy Valentine〜奈美とチョコレート工場〜」ということ

で、午前中はキュートなパティシエに扮した奈美さんが各グループを回り、活動で制作したチョコレートの材料や調理器具を集めて回りました。「奈美さんすてきっ!」「頑張っ!」「美味しいお菓子待ってるよ」などみんなから声をかけてもらい、奈美さんも嬉しそうなお様子でした😊午後は、奈美さんから一人ひとりへ、お菓子をプレゼント&みんなからは奈美さんへ一言メッセージのプレゼントをしました。みんなとお話したり、一緒に写真を撮ったり、とっても賑やかで楽しいひと時となりました。シャイだけど、人との関わりや楽しいことが大好きな奈美さん。奈美まつり終了後はちょっとお疲れの様子でしたが、「楽しかったですか?」と職員が聞くと、ニッコリ笑った顔で「うふっ♡」と答えてくれたのでした。

(記: 庄子)



権利擁護虐待防止委員会 活動報告

仙台つどいの家権利擁護虐待防止委員会では、しょうがいのある方の権利を守るために隔月一回テーマを決めて職員間で課題の話し合いを進めていきました。

「権利擁護」と聞くと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、しょうがいのある方は物事の判断が難しい場合があるため権利が侵害されやすく、「当たり前」の権利を守りながら生活をするためにみんなで考えていこう！というのが権利擁護虐待防止委員会です。

★以下、仙台つどいの家で今年度行われた全6回の研修内容です。

1. 権利擁護とは？つどいの家権利擁護ガイドライン読み合わせ

⇒つどいの家には権利擁護委員会が作成した虐待防止ガイドラインというものがあります。

なぜ権利擁護が守られなくてはいけないのか？年に一度基本に立ち返って読み合わせを行います。

2. 実際にあった虐待の動画を観よう

⇒北海道と山口県で実際にあった虐待の動画をみんなで見ました。どんな気持ちになったか？

「殴る蹴る」ような虐待ではないけれど、それに繋がりがねないグレーな支援は振り返るとあるかもしれません。

3. 利用者さんの好きなおところ・凄い所を話そう

⇒仙台つどいの家に通っている利用者さんのいいところや強みを知ればより楽しく支援が出来るのでは？と思い企画。くじ引きで選ばれた4名の方について話し合われました。

4. 利用者さんについて話そう

⇒2名の方を決めてその方がどんな人か、今何に困っているかを話し合いました。

5. 愚行権について

⇒「お酒」や「たばこ」など身体に悪いと知っていてもやってしまうことってありませんか？

身体に悪いと知っていてもやりたいことなど当たり前権利について話し合いました。

6. 支援者が葛藤する場面の話し合い

⇒愚行権の続きで「活動に参加してほしい」など日々支援者が葛藤する場面について話し合いました。

「権利擁護」という言葉を聞くと、どうしても身構えてしまったり反省を促すような内容になりがちでしたが、担当で話し合いもっとポジティブに利用者さんの魅力や当たり前の権利について考えていければと思い話し合いの内容を決めました。実際に前年度の研修よりも積極的に意見を出し合ったり「こんないいところがあるんだね～」と利用者さんの好きなおところを再確認する機会となり一定の効果は得られました。来年度も引き続き「権利擁護」をポジティブに考えられるような内容を行っていきたいです。また、「身体拘束」について考えていくことも国で義務化されました。身体拘束はしょうがいのある方の身体を押さえつけたり紐で縛るということだけではなく「ベルトのある車椅子に座りっぱなしにする」「向精神薬を過剰に服薬し動けなくする」などといったことも含まれます。

次年度もしょうがいのある方が当たり前の権利を守ることが出来るようにみんなで考えていければと思います！（記：松原）



CLOSE UP!

工藤望さん

今回の Close-Up! は、けやきグループの工藤望さんです。

すらっとした立ち姿が印象的な望さん。コーヒーやお茶を飲むのが大好きで、お家では料理や家事のお手伝いをしてくれる家庭的な一面も！

先日は夜間外出で、イルミネーションを見に行きました。夜のお出かけにワクワクの望さん、ライトアップされた景色を見ると駆け出し、見上げながら全身を使って楽しみました。これから気温が上がるとともに、望さんの楽しみも増えていくと良いですね♪

望さんは耳が聞こえにくいので、普段は手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションを取っています。両手の人さし指を向かい合わせ、指先を曲げる動作が挨拶なので、望さんと会った時にはぜひ話しかけてみてください。きっと「うんうん」と頷いてお返事してくれますよ！



(記：熊谷)

職員コラム

角田利子さん

さんしょグループで看護師として勤務しています角田利子です。

仙台つどいの家に勤務してから早10年が経ちました。昨年の3月には無事定年を迎え、現在は嘱託で仕事をさせて頂いています。今日まで仕事を続けることが出来たのは、利用者さん、保護者さん、職員の協力のおかげと感謝しています。

今まで様々な職場で仕事をしてきましたが、つどいの家は一番やりがいを感じる職場かなと思っています。利用者さんはそれぞれに個性があり、伸び伸びとして活動を楽しんでいるようで、その姿を見ていると私も嬉しくなります。

朝、手すりを消毒していると「そうじ・そうじ」と掛け声をかけてくれる有さん。肩トントンで振り返るとニコッと笑顔で挨拶してくれる邦明さん。さんしょのみなさんはスイーツ大好きで、美味しい物が口に入ると一生懸命にモグモグと口を動かしたり、口を大きく開けてアハッと笑顔になったり、両手をあげて美味しいと思いを伝えてくれます。送迎車では、車を降りたらダッシュで家まで元就さんとかけっこです。おかげさまで足・腰を維持できています。智香さんは、車の補助席を大きな音を出して倒し、私が驚くとニヤッと笑いながらしてやっつりの顔。お互いに顔を見合わせて大笑いで疲れも吹き飛びました。日々この調子なので、大変な時もありますが、みなさんから元気を頂いて頑張ることができています。これからもみなさんよろしくお願ひします。

スケジュール schedule

令和6年4月

- 1日(月) 辞令交付式・全体職員会議
- 4日(木) 医療的ケア安全委員会
- 8日(月) ケース会議 13:30 降所
- 11日(木) 音楽療法①・生け花①
イエローレシート
- 12日(金) 防災ネットワーク訓練
- 18日(木) 仙つ衛生委員会
音楽療法②・生け花②
- 19日(金) 職員会議・施設懇談会
- 25日(木) ケース会議 13:30 降所
- 26日(金) 法人防災委員会
- 27日(土) 休日開館日

令和6年5月

- 1日(水) 医療的ケア安全委員会
- 2日(木) ケース会議 13:30 降所
- 3日(金) 休日開館日
- 9日(木) 音楽療法①
- 11日(土) 休日開館日
イエローレシート
- 15日(水) 防災ネットワーク訓練
- 16日(木) 生け花①
- 21日(火) 職員会議
施設懇談会
- 22日(水) 仙つ権利擁護委員会
- 24日(金) ケース会議 13:30 降所
- 28日(火) 法人権利擁護・虐待防止委員会
- 30日(木) 音楽療法②・生け花②



ボランティアとして協力して頂いた皆様 ご協力ありがとうございます

(令和6年1月13日～令和6年3月8日まで)
吉田さん、平さん、本田さん

見学・来訪者など

千葉出版印刷、ここねっと、りんごの木、アグリ仙台、音楽療法：向井田先生・山崎先生、仙台大気堂、日本テクノ、菊電社、国見励ホーム、クリエイティブスタジオ、ウェルポート、生け花：濱谷先生、梅田テラス、わらしべ舎、ダンス：早坂先生、訪問介護まるん、ライムライト、Tagomaru、千葉商店、セントケア若林、針持後援会会長、後援会大野さん、ヤクルト、ピーススマイル石道さん、グリストラップ、マルイ、サトー商会、ほまれフーズ、マルゼン、マルキ水産、TOTO、東北食材、佐藤精肉店、ホシザキ東北

法人職員：彩乃、佐藤、飯田、菊地、福地、勝浦、高杉、小林、半沢、村上、美紗希、愛里、裕絵、三浦、小原、佐々木、鈴木、小野、渡部、大累ほか多数（以上、ご芳名順不同）

にこりほっと



ドライブに出かけた際、智子さんが自傷をすると、それを見た隣に座っていた今さんが肩をツンツンとしたり、頭を撫でてなだめようとしていました。ドライブから帰ってきても気にかける様子が見られ、今後も良い関係になってくれるといいなと感じました。

缶回収

2月分の納品額

合計 3,410円でした。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

春の訪れを嬉しく感じていますが、花粉症の私にとって今年も辛いこの季節がやってきました。。。(ノ_ノ) もともとはイネ科の花粉のみだったのですが、いつの頃からかスギ花粉デビューもしていました。長年付き合っている花粉症ですが、良い対処法などがありましたら教えていただきたいなと思っています。

(記：菊地)